

平成20年3月28日

各 位

会社名 株式会社 カワサキ
代表者名 代表取締役社長 川崎 治
(コード番号3045 大証第二部)
問合せ先 取締役管理部長 大下 実
TEL : (072)-439-8011

平成20年8月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年10月15日の決算発表時に公表した平成20年8月期(平成19年9月1日~平成20年8月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 平成20年8月期中間連結業績予想数値の修正(平成19年9月1日~平成20年2月29日)

(単位:百万円,%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,474	214	238	131	93円27銭
今回修正予想(B)	1,326	156	27	△7	△5円41銭
増減額(B-A)	△148	△58	△211	△138	—
増減率(%)	△10.0	△27.1	△88.7	—	—
(ご参考)前年中間実績 (平成19年2月中間期)	1,320	166	292	388	275円40銭

2 平成20年8月期中間業績予想数値の修正(平成19年9月1日~平成20年2月29日)

(単位:百万円,%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,370	219	245	139	98円53銭
今回修正予想(B)	1,234	163	36	3	2円88銭
増減額(B-A)	△136	△56	△209	△136	—
増減率(%)	△9.9	△25.6	△85.3	△97.8	—
(ご参考)前年中間実績 (平成19年2月中間期)	1,297	155	284	365	258円59銭

3 中間業績予想修正の理由

中間期の連結売上高、単体売上高につきましては、秋冬物の立ち上がり(平成19年9月以降)に気温が高く苦戦し、前回予想に対し減少しました。なお、平成19年4月から直営店を連結子会社のオーアンドケイ(株)に営業移管したため単体売上高は前年同期比減少していますが、連結売上高は前年同期比増加しております。また、当社グループの主要事業であります服飾事業におきましては、主な原材料及び製品を輸入しておりますので為替変動の影響を受ける立場にあります。為替変動の影響を軽減するため、通貨・ク

ポンスワップ、通貨オプションを行い長期的に有利かつ安定した為替レートを確保しております。当該デリバティブ取引は、期末ごとに時価評価した上で損益処理しております。

当期の当初中間業績予想は営業外収益に為替差益 50 百万円を計上のところ、中間期末の対ドル円為替レートが不利に作用し営業外費用に為替差損を 111 百万円計上することになりましたので、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見込みであります。

4 平成20年8月期連結業績予想数値の修正（平成19年9月1日～平成20年8月31日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	2,942	448	493	306	216円82銭
今回修正予想（B）	3,111	351	185	131	94円66銭
増減額（B－A）	169	△97	△308	△175	—
増減率（％）	5.7	△21.7	△62.5	△57.2	—
（ご参考）前期実績 （平成19年8月期）	2,636	302	274	489	348円08銭

5 平成20年8月期通期業績予想数値の修正（平成19年9月1日～平成20年8月31日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	2,732	458	508	315	223円19銭
今回修正予想（B）	2,521	342	185	132	95円38銭
増減額（B－A）	△211	△116	△323	△183	—
増減率（％）	△7.7	△25.3	△63.6	△58.1	—
（ご参考）前期実績 （平成19年8月期）	2,536	292	269	468	333円29銭

6 通期業績予想修正の理由

通期の単体売上高につきましては、下半期において中間期減少額の挽回は見込めませんので前回予想に対し減少します。なお、直営店を連結子会社のオーアンドケイ(株)に営業移管したため単体売上高は前年同期比減少していますが、連結売上高は前年同期比増加しております。また、平成20年3月1日に(株)リードを子会社化しましたので連結売上高は増加いたします。なお、当社グループの主要事業であります服飾事業におきましては、為替変動の影響を軽減するため、通貨・クーポンスワップ、通貨オプションを行い長期的に有利かつ安定した為替レートを確保しております。当該デリバティブ取引は、期末ごとに時価評価した上で損益処理しております。

当期の当初通期業績予想は営業外収益に為替差益 100 百万円を計上のところ、連結決算期末の対ドル円為替レートを中間期末の対ドル円為替レートと同一と想定すると不利に作用し営業外費用に為替差損を 111 百万円計上することになりますので、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見込みであります。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。